



卒業同窓会

令和7年度スローガン 「挑み 鍛え 前へ」

若松原中学校学校だより
第12号
令和7年12月25日
発行者 永井高穂



上記QRコードより、「若松原中学校」ホームページもご覧ください。

WGS あいさつ運動 11/20 (木)

今年度最後のWGS あいさつ運動を実施しました。今年から、PTA や地域の老人会の皆様にも声かけをし、合同でのあいさつ運動でした。もちろん、新田小学校、五代小学校にも出向き、小学校の児童会と共同で活動しました。年間5回行って、小中交流、地域の皆さんとの交流、生徒同士の交流ができました。若中生の元気を、パワーを、『元気なあいさつ』に向けましょう。あいさつは人間関係をつくるときに、最初にするもの。第一印象は大切です。気持ちを込めたあいさつを！



学校保健給食委員会 11/20 (木)



学校保健給食委員会が開催されました。学校保健給食委員会は1年に1回、本校の学校保健や、学校給食の取組について、学校医さん、PTA 役員さんを交えて、ご意見をいただくものです。今年度は、保健体育委員会の生徒も学校保健について報告しました。

関東駅伝大会 7位 入賞 「挑み・鍛え・前へ」そして栄光！



陸上部女子が、11/30 の関東駅伝大会で7位に入賞しました。駅伝といっても、山間を走るクロスカントリーのコース。慣れないコースを克服し、見事な走りを見せました。一人一人が「前へ」の気持ちをもって走り切り、特に、最終走者が、入賞圏内でありながらも、さらに「前へ」向かう姿は本当に立派でした。

地域未来会議 12/19



SDGs11「住み続けられるまちづくりを」をテーマに代表生徒と地域の方との2回目の話し合いを行いました。

テーマは「思いやりあふれる地域・学校」です。1年間行ったあいさつ運動を振り返り、次年度につながる話し合いがもてました。



PTAの研修部が主催した「フラワー アレンジメント教室」が開催されました。参加した保護者の皆様には、大変好評でした。



年に一度のお弁当の日。生徒たちは、思い思いのお弁当を持ち寄り、いつもよりも会話も弾み、楽しい時間を過ごしました。やっぱり好きなものを食べられるお弁当は人気です。

図書ボランティアによる読み聞かせ

(12日(金)1年, 18日(木)3年, 23日(火)2年)

図書ボランティアの方に朝の読書の時間に読み聞かせをしていただきました。生徒たちは、落ち着いて読み聞かせに集中していました。



★思春期の子供たちとどう接する?★

思春期の子供たちに必要なことは、ジリツです。ジリツには、「自律」と「自立」の2つありますが、それは持続的に何かをやり遂げる力であり、自分と向き合えるようになることです。生徒がしっかりと自分と向き合えるようになることは、自分を理解することです。そのために、普段の様々ななかかわりの中で、私たち大人は、次のことを教える必要があります。

- ① 自分には生きる価値がある。 ② 人生は自分次第である。
- ③ 周囲と良い関係を持つために自分を表現する。
- ④ 自分をコントロールする。 ⑤ 意識して自分で選択する。
- ⑥ 異質な物を受け入れる力をつける。

よく、人生は自分次第だから、自分で責任をとればいいという親御さんがいらっしゃいますが、そのための生きる力は、学校生活の中の集団生活を通してはもちろんのこと、家庭や地域の中においても、教えるべきことを教えられてのことです。教えるべきことを教え、自分で選択させ、自分で選択したことに責任が伴うことを学ばせる。集団の中で、自分を表現し、コントロールし、異質なものも受け入れる器を作り上げる。そのためには、大人の関わり・教えが不可欠であることを再確認してください。

フードパントリー 12/24

今年3回目のフードパントリーです。今回は3年生。受験勉強に勤しんでいる3年生へのクリスマスプレゼントとなりました。

